

かながわ県政レポート

かながわ民進党神奈川県議会議員団 いたう康宏 旭区笹野台 1-1-30 202 Tel045-360-1801

特別委員会副委員長に就任！

ともに生きる社会かながわ憲章推進特別委員会

本会議でいたう議員は、議長指名により、文教常任委員会、ともに生きる社会神奈川憲章推進特別委員会副委員長にそれぞれ選任され、就任しました。

本県の障害者の数は、身体障害者／手帳の交付者数は27万9355人、知的障害者の把握数は、6万4千994人、精神障害者／保健福祉／手帳／交付者数は6万9千814人となっています。

また、本県に在宅の障害者がどのくらいいるのかという統計数字はありませんが、施設に入所し何かしらサービスを利用している人が6,426人という数値から計算すれば、在宅の障害者数は40万人弱と推定できます。このようにたくさんの方の障害のある方が暮らす本県において、昨年7月26日に「津久井やまゆり園事件」が発生してしまいました。



“共生”憲章策定

「津久井やまゆり園」において発生した大変痛ましい事件が二度と繰り返されることがないよう、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現に向けて、県民の皆さんとともに取り組んでいくため、県議会として、神奈川県と共に、「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。

優先すべき課題

私たちが、障害の有無にかかわらず、一人ひとりのいのちを大切にすること、障害者がその人らしく暮らすことのできる地域社会の実現をめざし、障害者の社会への参加を妨げるあらゆる障壁、いかなる偏見や差別も排除することに、県民総ぐるみで取り組み、共生社会の実現を神奈川県から発信して参ります。

神奈川県議会議員
いたう康宏
やすひろ

いたう康宏 プロフィール



- 1964年(昭和39年) 4月16日生まれ
- 学歴** 1983年3月 東海大学附属相模高等学校
1987年3月 東海大学卒業
- 職歴** (株)コーセー(コーセー化粧品)
元衆議院議員・法務大臣 秘書
- 資格** 中学校・高等学校社会科教諭
- 趣味** フルート演奏
- 議会役職など(平成29年度)
- ・文教委員会委員
 - ・予算委員会委員
 - ・ともに生きる社会かながわ憲章推進特別委員会副委員長
 - ・神奈川県総合計画審議会委員

■タウンニュース旭区版 5月4日号掲載記事

北朝鮮ミサイル問題

◆国際情勢を見極める北朝鮮

繰り返される北朝鮮のミサイル発射は、国連安保理決議に明らかに違反しており、断じて許されません。

世界が厳しい視線を向け、緊張が高まっているこの時期にあえて発射実験を行った背景には、国際情勢の微妙な変化があります。

4月、化学兵器を使用したとしてアメリカはシリアにミサイル攻撃を行いました。その後、アメリカが北朝鮮近海に空母を向かわせたため、米朝間での武力衝突の危険性が高まりました。

4月中旬に行われるとささやかれていた核実験が見送られたのは、実験を行えばアメリカからの攻撃を招くおそれがあるという判断があったためと考えられます。

核実験は見送りましたが、その4月に北朝鮮はミサイル発射実験を行っています。幸いこの時は失敗に終わりましたが、国連安保理からは非難声明が出されました。これに対し、ロシアは難色を示しました。また、中国は北朝鮮を非難はするものの、これまで原油の禁輸などの強硬な制裁は行っていません。

韓国では北朝鮮との対話を重視する文在寅氏が、フランスではEUに肯定的な中道派のマクロン氏がそれぞれ新大統領に就任し、世界の為替や株価は今のところ安定が保たれています。

こうした中での今回の発射実験は、北朝鮮が国際情勢を読み、アメリカが武力行使に踏み切らないという確信の下に行われたデモンストレーションだったと見ることが出来ます。

◆実効性ある圧力と対話を

こうした挑発に対し、安易に妥協してはなりません。各国はこれまで北朝鮮に対し、核兵器開発を断念する見返りとして支援を行ってきましたが、効果はありませんでした。必要なのは、中国に原油輸出制限を働きかけるなど、国際的な協調を背景に、実効性のある経済制裁を組み合わせ、北朝鮮から目に見える形での譲歩を引き出す「圧力」と「対話」を同時に行うことです。

国民の生命と財産をおびやかす脅威に対し、断固抗議します。



県政へのご意見・ご相談は
神奈川県議会議員
いとう 康宏

いとう 康宏

●1964年4月16日生まれ(53歳)/旭区笹野台在住
●東海大相模高校/東海大学文学部卒業
●かながわ民進党県議副団長
●防災警察常任委員/経済活性化・産業振興特別委員会
神奈川県総合計画審議会委員
【事務所】横浜市旭区笹野台1-1-30 202
☎045-360-1801 ☎045-360-1802
Eメール ito@yasuhiro55.com
<http://www.yasuhiro55.com>

かながわ民進党県政報告 No.11 WHOとの連携

神奈川県議会議員 いとう康宏

神奈川県議会議員として3年目の「こどもの日」を迎えました。柏餅を食べながら「こどもの日」をお祝いしたいと思います。

本県の取り組み 神奈川県では、ヘルスケア・ニューフロンティアの課題である高齢化対策に重点を置き、県は高齢化に関するシンポジウムの共催やア・ニューフロンティアの

私達は、第1回定例会の一般質問で、未病の改善に向けた取り組みを浸透させるためには、本県とWHOとの連携を強化することが有

効な方策の一つとして、世界的な取り組みにさらに積極的な参画を求めました。エイジフレンドリーシティ

21世紀を方向づける 高齢化と都市化は21世紀を方向づける上で大きな影響をもたらします。都市が発展するのに伴い、60歳以上の住民の割合も増加しています。高齢者は、家庭や

W H O の高齢化部署の具体的な取り組みの一つに「エイジフレンドリーシティ」があります。W H O が2010年に立ち上げた高齢者に優しいまちづくりを行う都市のグローバルネットワークです。世界的に高齢化と都市化が進展する中で、人々の健康的な高齢化を促すような環境づくりが重要になっていくことに対応しています。

活動的な生活を送ることが出来るまちをつくりあげることが必要であり、高齢者はもちろん、障がい者、子育て中の親や子ども、若者など全ての世代の人々にとって暮らしやすい、誰もが住んでいてよかったです「かながわ」を目指して、効果的かつ継続的な取り組みを行って参ります。

地域社会、経済活動などにおいて、重要な貢献を果たしています。現在約400の都市がネットワークに参加している、このエイジフレンドリーシティの活動に県内各市町村が参画し、未病の取組みに関する情報の共有や国内外の研究機関等との連携強化など、実効性のある取り組みを進めていることが、県民に未病を浸透させるために非常に効果的であると考えます。生涯を通していきいきと活動的な生活を送ることが出来るまちをつくりあげることが必要であり、高齢者

県政についてのご意見・ご要望をお気軽にご連絡ください!

かながわ民進党

いとう康宏

いとう康宏 検索

政務活動事務所

TEL. 045-360-1801 FAX. 045-360-1802

〒241-0816 横浜市旭区笹野台1-1-30 森ビル2階

相鉄三ツ境駅北口・笹野台中央商店街

URL: [http:// yasuhiro55.com/](http://yasuhiro55.com/)

Mail: ito@yasuhiro55.com

(平日 13:00~17:00 その他の時間帯は FAX でお願います)